



見る
聞く
さがす
夢がある
日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第135号 発行日/2018.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会
年4回発行(3, 6, 9, 12月)

日立市役所新庁舎完成予想図

つなぐ
～平成から明日へ～

百年塾フェスタ＆日立市子どもまつり2018



ありがとう30周年

※市民のみなさん
対象のイベントです。

ひたち生き生き百年塾創立30周年記念講演会

「魅力ある街ってどんな街?」

講師: 山田五郎氏 (編集者・評論家)

◇ 平成31年3月23日 (土) 13:30~15:30

◇ 会場/日立シビックセンター音楽ホール

おいでください

百年塾
推進園・校報告会2018

とき/平成31年2月16日(土)
13:30~15:30

ところ/日立シビックセンター

※詳細は市報1月20日号にて

つないだ手と手が にぎわいを創る

百年塾フェスタ&日立市子どもまつり2018

抜けるような青空のもと、10月28日(日)日立シビックセンター・新都市広場・マーブルホール周辺を会場に「百年塾フェスタ&日立市子どもまつり2018」が開催されました。共同開催という初の試みに子どもから大人まで約8,000人が会場を訪れ、様々なブースで楽しんでいました。

元気あふれるまつりに



今年の開会宣言は、共催が叶った百年塾と子ども会の両者で行われ、代表の子どもたちの元気な声が会場に響きました。

フェスタのオープニングを告げる多賀中学校吹奏楽部によるファンファーレも、軽やかな演奏とリズミカルな動きで大きな拍手がわき起きました。

また、長年にわたりフェスタボランティアとして参加してくれている多賀高校、日立工業高校、明秀学園日立高校、日立第二高校の4校に百年塾本部長である中山俊恵



4校の代表に感謝状

教育長から感謝状が贈られました。

共催で相乗効果

会場には約80のブースが設けられ、子ども会ならではのチャレンジゲームやスタンプラリーなど多くの人でにぎわいました。生花で描く日立第二高校の「お花のじゅうたん」も見事完成。会場を彩りました。

今回のフェスタを通して、子ども会側からは「共催になったことで、雰囲気も各出展(店)の内容もとても充実していたので、中身の濃いお祭りだったと思います」「会場設営などの大変さが軽減しました」と。百年塾側も「一日中来場者が途切れることなく、子どもたちでいっぱいのフェスタになったことが嬉しい」などの声が寄せら



新都市広場(左)もマーブルホール(右)も子どもたちの笑顔であふれる

花いっぱいでおもてなし

2019年に茨城県で開催される国体では、総合開会式・閉会式の会場や競技場、駅、沿道などを花いっぱいにして、全国から訪れるたくさんの人々をおもてなしできるようにと、県実行委員会が「花いっぱい運動」を進めています。

日立市でも県から提供された花苗などを昨年6月からコミュニティ推進協議会の各地区ほかで分担して育成を開始しました。

水木学区コミュニティ推進会でも、昨年はサルビア、今年はマリーゴールドと日々草の計50鉢をプランターに移し、交流センターの職員や地域のボランティアの人た



国体会場を飾るのが楽しみ

子どもからお年寄りまで、“いつでも・どこでも・なんでも”学びあい教えあうのが生涯学習です。

百年塾が30周年

百年塾が今年で創立30周年を迎えることから、フェスタ&子どもまつりの開会に先立ち、市や県をはじめとした関係者が出席のもと、記念式典が行われました。

式典では、中山俊恵本部長の主催者あいさつや来賓祝辞に続き、根本弘道30周年記念式典実行委員長から百年塾のこれまでの経過や、百年塾が次の時代に向けてなすべきことなど決意表明が述べられました。



懐かしい顔ぶれも揃った式典

れ、共同開催の成果を実感するとともに、フェスタの今後のあり方を考える機会となりました。

当日は天気に恵まれ多くの方々に楽しんでいただけたかと思います。参加していただいた皆様ありがとうございました。

(日立市子連 遠藤健一会長)



ちが、毎日水をやり大切に育ててきました。

見事に咲いた花々のプランターは、今年10月12日～14日に開催された卓球競技リハーサル大会時に、会場となる池の川さくらアリーナや日立駅、常陸多賀駅に設置され、人々の目を楽しませていました。

来年の本大会まで、市内各地でたくさんの人たちが、さまざまな形で国体を支えていきます。



日立市初！十王町長者山遺跡が国指定史跡に

この度、十王町の愛宕神社周辺の長者山遺跡が、古代国家の交通政策を知る重要な遺跡であると高く評価され「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」として、日立市初となる国指定の史跡となりました。

長者山遺跡は奈良時代の

サービスエリア

長者山遺跡は、奈良時代から平安時代にかけての古代の道（官道）と官衙関連施設（役所）の跡で、平成17年度の十王町史編さん事業による学術調査をきっかけに発見されました。官道とは、都（平城京）と各国の役所（国府）を最短距離で結ぶ道で、現代の高速道路



のようなものです。

奈良時代大和朝廷は中央集権国家を目指し情報網として官道を整備しました。この道を使えるのは駅鈴を持った役人と都に税を納めに行く人、東北へ蝦夷平定に行く人々などでした。

この官道に16kmごとに設けられたのが駅家（うまや）で、乗換用



の馬を完備し宿泊や食事もできる高速道路のサービスエリア的なもの。文献によれば当時常陸国には16の駅家が

存在していたそうです。長者山遺跡はこうした古代国家の交通政策を知る重要な遺跡と考えられます。

常陸国風土記との関連性は？

奈良時代初期に各地の地名や特産物、自然、伝承などをまとめた風土記の編纂が行われました。現存する風土記は5件で、その一つ常陸国風土記には多珂郡の条に

「藻島駅家（めしまのうまや）」の位置や郡衙（郡の役所）からの方角、距離、附近の浜からは美しい碁石が取れるとの記述があり、現在も十王町には碁石浦や目島という字名も残っていることから、長者山が藻島駅家の有力な候補地とされています。

ロマンに満ちた長者山遺跡

今回、国指定史跡登録に尽力された日立郷土博物館学芸員の猪狩俊哉さんは、「長者山遺跡は限りなく藻島駅家に近いがまだ確証は得られていないので、今後さらなる調査で確実な証拠を探したい。また国指定を機に長者山遺跡が市民の学びの場となり、日立の歴史に興味を持つもらえば」と話します。

長者山遺跡が国指定史跡となつたことを記念して、11月10日（土）ゆうゆう十王・Jホールで講演会が開催されました。併せて市内小学生の古代社会をテーマとした作品21点を長者山賞として表彰。遺跡発見によって、今を生きる子どもたちが古の人々への思いを巡らせるきっかけとなつたようです。

んだ童謡やシャボン玉をはじめとした野口雨情メドレーに改めて日本語の美しさを思い、歌と共に子どもの頃の思い出やふるさとの情景が胸によみがえってきました。

会場全員で歌ったフィナーレの野口雨情作「七つの子」に、童謡がこれからも長く歌い継がれるよう願いが込められた、懐かしさあふれるコンサートでした。

私たちは百年塾運動を応援します

2018.9.1～11.20（敬称略）

【団体】日立市フォークダンス連合会 セブンイレブン日立千石町店

【個人】西内博 仙波嘉織
飯田宏 小佐野勝春 今橋知江
園原愛子 白石知子 鼻和貴子
隆珠美 行田綏子 須田久美子
磯崎孝子 檜山章一 千葉富夫
表榮子 朝日正子 富永淳子
佐藤昌珠 廣木英子 蝶田智美
大越典一 堀三千男 石塚猛

♪童謡100周年を記念して♪

～歌いつなごう未来へ～

10月14日（日）日立シビックセンター音楽ホールで「～童謡100周年を記念して～歌いつなごう未来へ」と題した記念コンサートが開かれました。

コンサートを主催する「ローゼの会」代表の戸来和子さんは「童謡という言葉が大正7年に生まれて今年で100年目となります。たくさんの童謡を作詞した野口雨情さんの出身が北茨城であることから、記念のコンサートはぜひ



茨城で開きたいと願っていました」と話します。

コンサートでは、茨城キリスト教大学附属認定こども園みらい園の園児のみなさんから日立市立中里小学校・中学校、県立磯原郷英高校の生徒さん、そして大人のみなさんたちへとたくさんの童謡が歌い継がれてきました。

野口雨情の孫である野口不二さんと音楽評論家の湯川れい子さんとの、歌を巡る対談も組み込まれ、童謡に込められた思いや時代背景などが語られました。

赤とんぼやもみじなど秋にちな



童謡を受け継ぐ明日の世代

市民教授 見つかるくん ご利用ください

「市民教授 見つかるくん」は、何かをしてみたいという市民の皆さんのが、自分の求めている講座や市民教授をすばやく見つけるためのホームページでの検索システムの愛称です。

百年塾では特技を持った市民の方々280名を市民教授として登録していただき、380件ほどの講座を用意しています。

市民教授名簿はホームページで公開されていますが、登録分野が広範囲のため利用者からは求めている講座や市民教授が見つけづらいと言われていました。そのため

目的別にワンクリックで市民教授が探せるよう「市民教授 見つかるくん」という形でまとめました。

現在、百年塾のホームページには、冬休みの時期に合わせ「体験」「手工芸・工作」の講座を掲載した「見つかるくん」がアップされています。



「体験」は4講座でアート寿司、うどん作り、社会科自由研究、戦争体験の話、「手工芸・工作」は10講座でトールペイント、折り紙、手作りおもちゃ、押し花、絵画、竹細工、科学工作、グラスアート、粘土クラフト、UVレジンの講座が組まれました。

今後も様々な講座を「見つかるくん」で掲載していきますので、お気軽にご利用ください。

市民教授登録

2018.9月～11月に登録の方（敬称略）

■前嶋幸恵さん／久慈町

（スラックライン・食育・成人病予防・ファイナンシャルプランナー）

よろしく 市民教授・まち案内人です！

そば打ちは楽しい！



川上勝則さん（そば打ち）

「いばらき蕎麦の会」「常陸そばの会」で活躍中のそば打ち名人川上さん。

奥様から常陸太田のそば祭り参加を勧められたことが、そば打ちを始めたきっかけだそうです。

そばを打ってみるとその奥深さに魅せられ、研究・研鑽を積み重ね15年経った今年、ついに一般社団法人全麺協「素人そば打ち段位認定制度」で最高位の5段を取得に至ったとの事。実はこの段位を持つ人は全国に1万人を超える段位取得者の中でもわずかに118名しかいないそうです。

現在、そば打ちの面白さを知ってもらおうと、初心者講習会の実施や上を目指す後進の方の指導など、「そば打ち」を広める活動に忙しい日々を過ごしているそうです。「そば打ちを教えるコツはまず楽しくやることです」と快活に話す川上さん。同じ趣味を持つ仲間が増える講習会に参加されてはいかがでしょうか。

笑いヨガで健康な体を！

弓野典子さん（笑いヨガ）



県北で初の「笑いヨガ」ティーチャーの弓野さん。テレビ番組でインドの医師マダン・カタリア博士が考案した笑いヨガを見て「これだ！」とのめり込み、平成27年に資格を取得したことです。

笑いヨガは手拍子と呼吸方法が基本で特に決まりはなく、健康体操として子どもになった気持ちで笑うと無理なく笑えるようになります。体を動かしながらお腹の底から笑えば有酸素運動の効果抜群だそうです。

現在は仕事のかたわら月平均2回ほどのボランティアと月1回の「のりのり日立笑いクラブ」を開いていますが、近い将来には昼間の教室やリーダーを育てる講座など活動を広げたいと、明るく語る弓野さん。

ストレス解消にも効果的な「笑いヨガ」。あなたと一緒に笑って毎日楽しく健康に過ごしませんか？

- 百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています
- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

